

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎ノ

3.6全国労働者集会に1930名の大結集 画期的成功をかちとる!

全金本山労組委員長八重樫友美氏は、「三里塚での現在の組織攻防戦を見ると、教訓として言えることは、闘いが長期になると敵の攻撃は必ず内部分断を狙ってくる。だから、くさいものにフタをせず

「労働運動は一人一人の活動家の決意と情熱で支えられているが、それだけでは足りない。自分の周囲に百人、千人を結集させ、労働組合の機関を握って組織を動かす力をもつことだ。政治の焦点にむけ、全国の労働者が立ち上るならば、三里塚は勝利できる」と訴えられました。

この3・6集会は、全国、各界からの多くの方々の賛同に支えられて開かれました。3月5日現在で、それは二三団体と一四五名にものぼりました。参加された支援・共闘団体を代表して次の方々から連帯のあいさつをうけました。

各界から熱い連帯・共闘のあいさつ

「81・3闘争の地平を拡大し、三里塚を闘う全国潮流をつくり上げよう」との開会宣言で始まりました。主催者を代表して、動労千葉関川委員長が、「80年代は三里塚と国鉄の攻防が焦点であり、ここに労働者の未来がかかっている。結集されたすべての皆さんが、3・28三里塚現地に登場し、敵の野望を粉碎しようではないか。それが三里塚闘争の勝利と労働運動の未来を切り開く第一歩である」とあいさつしました。

三里塚ー国鉄で勝利し、人民の未来
きりひらこう



主催者あいさつに立つ関川委員長

関川委員長あいさつ

日刊 動労千葉

82. 3. 9

No. 987

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五ノ六(公巻)四三二七二〇七

3.28三里塚へ 巨万労働者の総結集を確認

動労千葉が主催した「全国労働者集会」は、3月6日、習志野文化ホールを埋めつくす一九三〇名が参加し、3・28三里塚への総決起と80年代大攻勢への戦闘宣言を満場一致で確認し、大成功をかちとりました。集会には、動労千葉の全支部からの総結集はもとより、三里塚反対同盟はじめ全国各地から闘う仲間がかつてない拡がりで結集しました。

「敵の攻撃を突破すれば、必ず勝利する」と、自らの体験にふまえた提起がなされた。

全造船機械石川島分会委員長佐藤芳夫氏は、「資本主義は重大な『危機』だが、われわれにとつては守勢から攻勢へのチャンスだ。二期着工阻止の闘いが前進するなら、労働者はたくましい指導を求めて必ず決起する」と確信こめて述べられました。

連帯のあいさつの最後に、北富士忍草母の会会長渡辺喜美江さん、事務局局長天野美恵さんが、「今日を出発点に、労働組合を丸ごと戦争協力団体に変える攻撃に反撃していこう」と訴えました。

(裏面に続く)



3・28 全国から三里塚へ総決起するぞー! (3月6日、習志野文化ホール)

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!